



令和6年度から「管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問」は第2フェーズに入り、学校が「より主体的かつ組織的に教育活動の質の向上を図る」ことを目的に「協議題」を設定して協議を進めています。

学校の一步先を実現するために、AP訪問でどのような協議題を設定するかも、**APを有効活用する**ポイントの一つです。今号では、**自校のAPに即した協議題**を設定するための参考として、令和6年度の事例を紹介します。

【A中学校の例】 ③ APの〔重点目標〕と〔重点取組〕、訪問時の〔協議題〕が一貫している。

「知」に関する項目

本年度の重点目標：**学び合う活動の充実**を図り、**考え**や**理由**を**筋道**を立てて**説明**することができる生徒の育成

達成指標
(達成した姿、目標値と現況値)

重点取組
(教職員の具体的な手立て)

- ①「グループの話し合いなどで、友だちと考えを交流し、自分の意見を修正したり深めたりすることができる」
(7月・12月生徒アンケート)
「よくあてはまる」という回答率を増やす。

- すべての教科で単元計画の中にTam3.4などのグループ学習やペア学習、コラボノートの活用を位置づけ、**学び合う活動の充実**を図る。
- 授業時間内での学び合いを充実させるために、家庭学習の中に予習を計画的に取り入れる。

- ②「考えや理由を、筋道を立てて説明することができる」
(7月・12月生徒アンケート)
「よくあてはまる」という回答を増やす。

- すべての教科で生徒が自分の考えや理由を、筋道を立てて**説明する場面を設定**し、生徒が表現しやすくなるよう工夫を行う。
- 総合的な学習の時間を活用し、地域に向けて発信できるような活動を実施する。

訪問時の〔協議題〕

「課題解決型学習の進め方」

～**学び合いの充実**を図るには～



学び合いの充実のための教師の働き掛けは？

アドバイザー



課題解決のためにコラボノートをどのように活用していますか？

自分の考えを理由をつけて説明していますね。



指導主事



お互いを認め合う学級風土が育っていますね。

今日の授業参観では、『**学び合い**』の場面に重点を置いて見取ってほしいです。

校長先生



【参考】APに即した協議題の例

1 主体的・対話的な学びに関する協議題

- 相互に学び合う主体的・対話的な学びに向けて
- 自己決定の場を設けた授業実践に向けて
- 効果的な協同学習の在り方

☞ 協議題に沿って話し合われた課題

- ・目指す児童生徒像はどんな姿？学びを委ねる目的は？
- ・委ねる価値のある課題をどう設定するのか。
- ・学び合いの場面における教師の指導性の発揮とは？



2 深い学びに関する協議題

- 自分の考えをもち、学び合いによって考えを深める生徒の育成
- 授業における「山場」設定と教師支援の在り方

☞ 協議題に沿って話し合われた課題

- ・教師は単元構想に基づき、本時のねらい（付けさせたい力）を明確に持っているか。
- ・各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせているか。

3 その他の協議題

- 非認知能力を土台にした学びについて
- 学習基盤となる自己肯定感を伸ばすための有効な取組
- PBLを中核に据えた探究的な学び
- 主体的・対話的で深い学びのためのGIGA端末の有効活用
- 授業と家庭学習の連動による学力向上

など

Advisers'
viewpoint



今年度も、学校が設定した「協議題」を基に、協議等の時間に参加者で深めていきます。自校にとって、何を協議することが最も必要なのか。例えば、校内研修をより一層深めるため、人材育成を図るため、PDCAサイクルを回すためなど、目的を明確にして校長先生の意図を協議題に反映させることで、学校の取組を一歩先に進めるヒントが得られるかもしれません。